

## そらこめ通信 No.91 2018年3月22日発行

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

少しずつ春の気配が感じられるようになり、幾分ホッとしている今日この頃ですが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

沼田町はこの冬、数年ぶりの大雪となりました。降雪量が多かったというよりは（確かに平年より少し多いですが）、低温の日が続いたことにより雪が融けずに残ったという方が正しいかと思えます。これから融雪期に向かいますが、順調に融けてくれるのか今から心配しております。

日本穀物検定協会が2017年産米の食味ランキングを公表しました。全国151の産地・品種のうち最上位の特Aを獲得したコメは全部で43。北海道では「ななつぼし」が8年連続、「ゆめぴりか」が7年連続で特Aを獲得しましたが、昨年まで2年連続で特Aを獲得していた「ふっくりんこ」は惜しくもひとつ下のA評価となりました。今回公表されたランキングでは18の産地・品種が昨年の特AからAに評価を下げています。この中に今まで特Aの常連だった新潟県魚沼コシヒカリが含まれたことは驚きとともに大きく報道されました。28年間特Aを守り続けてきた産地の困惑は、言葉では言い表すことができぬほどと聞いております。

日本穀物検定協会が毎年行っているコメの食味ランキング試験は20名のエキスパートパネルといわれる評価者による食味官能試験で行われます。また、サンプル米の調達先などについては一切公表されておりません。そういう意味では、このランキング自体非常に捉えどころのない、しかし影響力だけは抜群にある「やっかいな代物」であると言えます。サンプルの出所が不明なために、産地にしてみれば改善方法が見つからないわけで、魚沼の困惑の真意もそこにあります。考えてみれば各々が地道に旨いコメを作る努力を重ねれば良いだけのことで、このようなランキングに大騒ぎするのはやめるべきかも知れません。

2か月程、「そらこめ通信」をお休みさせて頂きました。その間、撮影された写真が少なかった事もありますが、お伝えする内容についてもマンネリ化が否めず（冬期間は特にですが）、止む無く休止した次第です。元々この「そらこめ通信」は、真面目な（笑）コメ農家が年間を通してどんな作業をしているのか、どのような考えで何を目標に作業に取り組んでいるのかを、日頃私どものコメを食べて頂いている消費者の皆さまにお伝えしたくて始めたものです。平成22年8月に発行された第1号から数えると間もなく丸8年になります。そういう意味では、初期の目的はある程度満たされたのかも知れません。今は、SNSなど伝達手段がたくさんあり、弊社のホームページからも生産者のフェイスブックを覗けます。今後は、お伝えすべきピックスがあるときに不定期にて発行させて頂きたいと考えております。どうぞ、ご了解ください。今後ともよろしく願い申し上げます。



育苗ハウスに積もった雪(2月15日)



スコップで雪を掻きだす作業(2月15日)



ハウス内の除雪作業(2月15日)



雪に埋もれたポンプ小屋の除雪(2月27日)



ハウス内の除雪作業(2月27日)



ミニユンボでの除雪作業(2月28日)



トラクターでの除雪作業(3月5日)



ハウス周辺の除雪作業(3月7日)



ビニールシートをかける作業(3月12日)



大型ユンボでの除雪作業(3月12日)



鉄骨を入れるための穿孔作業(3月15日)



鉄骨の建て込み作業(3月15日)

3月に入ってから育苗ハウスの建て込みが始まり、種まきに向けて準備が着々と進んでいます。例年通りの作業の流れではありますが、気がかりなのは雪の多さです。苗場は機械で除雪することが可能ですが、ほ場はそうはいきません。早めに融雪剤は蒔きますが、後は自然にゆだねるのみ。ほ場の雪の融け具合を見極めつつ、種まきの日取りを考えるなど、しばらくは頭を悩ませそうです。

### インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ  
<http://www.sorachi-kome.jp/>  
facebookによるブログ「生産日誌」更新中